

エコアクション21
環境活動レポート 2016

対象期間：2016年10月～2017年3月

株式会社 ヤブシタ

発行日：2017年5月11日



目次

1. 事業概要	3
2. 対象範囲	4
3. 環境方針	4
4. 環境活動実施体制図	5
5. 環境活動取組み記録	5
6. 中期環境目標	6
7. 環境目標と実績	7
8. 取組み評価と今年度取組み	8
9. 環境活動の取組み内容	9
10. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無	10
11. 代表者による全体評価と見直し	10

1. 事業概要

● 事業所名及び代表者

○事業所名：株式会社ヤブシタ、ヤブシタエネシス株式会社

統括代表者名：代表取締役 森 忠裕

〒060-0006

北海道札幌市中央区北 6 条西 23 丁目 1-12

TEL：011-624-0021 FAX：011-624-0024

URL：<http://www.yabushita-kikai.co.jp/>

○事業所名：ヤブシタ総合設計株式会社（グループ子会社）

代表者名：代表取締役 巴 敬二

〒060-0006

北海道札幌市中央区北 6 条西 23 丁目 1-12

TEL：011-624-0029 FAX：011-624-0026

URL：<http://www.y-sogo-sekkei.com/>

○事業所名：株式会社ヤブシタ製作所（グループ子会社）

代表者名：代表取締役 上野 光弘

〒069-0804

北海道江別市野幌美幸町 30-2

TEL：011-891-8488 FAX：011-391-8477

弊社は、グループ子会社を含めエコアクション 21 環境経営システム活動に取り組んでおります。

● グループ事業内容

冷熱関連部材・太陽光発電関連部材の設計・製造・販売

北海道内のみ施工工事展開

● グループ事業規模

2016年4月1日～2017年3月31日

年商：22億4,984万円

従業員：60名（2017年4月3日現在）

2. 対象範囲

● 対象事業所

- ・株式会社ヤブシタ
- ・ヤブシタ総合設計株式会社
- ・ヤブシタエネシス株式会社
〒060-0006 札幌市中央区北6条西23丁目1-12
- ・株式会社ヤブシタ製作所（旧 株式会社ヤブシタ札幌工場）
〒069-0804 江別市野幌美幸町30-2
※2017年4月 製造部が分社化し、株式会社ヤブシタ製作所として独立。
- ・函館営業所
〒040-0065 函館市豊川町20-5
- ・東京営業所
〒108-0014 東京都港区芝5丁目20-9 東化ビル2F

3. 環境方針

環 境 方 針

株式会社ヤブシタは地球環境に優しく、調和のとれた活動を社員全員で継続的かつ効率的に行い、先進的な製品の開発・販売及び施工を通して、環境負荷低減に努め、循環型社会の構築に貢献する企業を目指します。

行 動 指 針

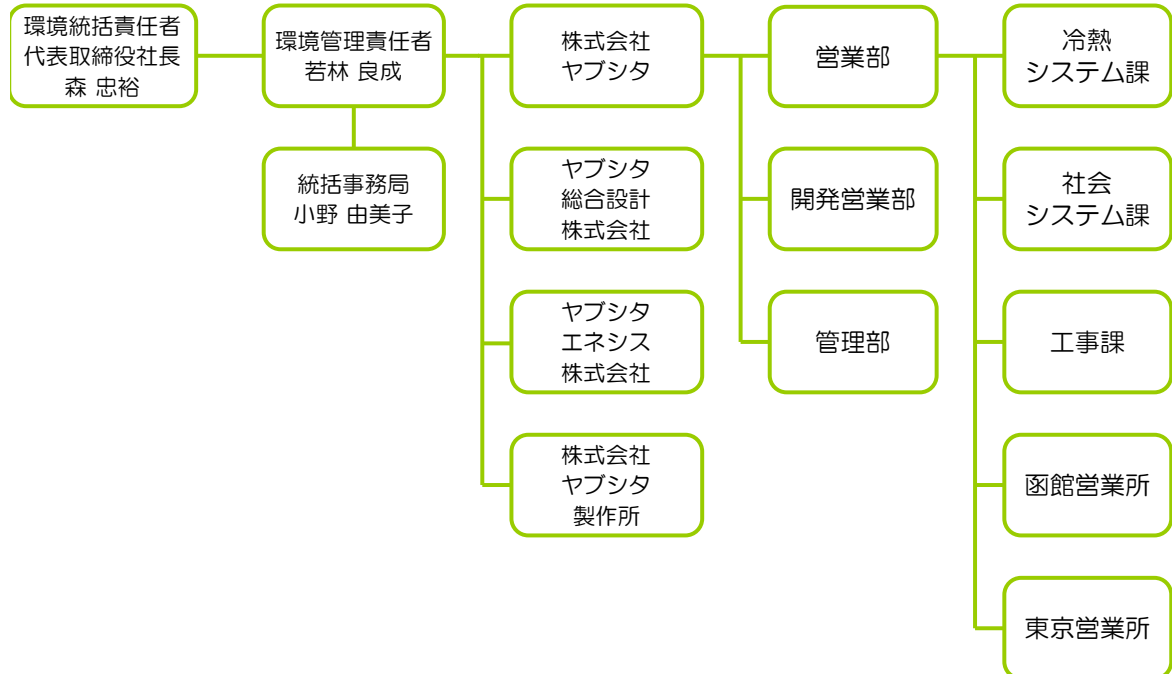
1. 製品及び工事施工は環境負荷低減を図り、省資源・省エネルギー・フロンガスの適正管理並びに廃棄物の削減、分別及びリサイクルの促進に取り組めます。
2. グリーン購入の推進及び有害物質の少ない材料の購入を推進します。
3. お客様に対し、省エネルギー製品・システムの提案活動を積極的に行います。
4. これからの活動を目録管理制度に導入し、継続的に取り組めます。
5. 環境に関連する法規・条例等を遵守します。

制定日：2015年4月1日
発行日：2015年4月1日
株式会社ヤブシタ
代表取締役社長

森 忠裕

4. 環境活動実施体制図

● 実施体制図



5. 環境活動取組み記録

● 取組み記録

- 2016年10月 前年度実績把握に基づき担当メンバーで目標設定。
- 部門毎に月一回の会議を行い情報共有。
※部門会議内で前年度実績及び今期環境目標及び活動計画内容に対する一般教育を実施。
- 担当者会議で進捗確認、課題整理、対策打合わせ。(11月・1月・3月・4月)
- 2016年12月 北海道地域エコアクション21 認証、登録10年継続事業者
記念式典及び記念講演への出席。
- 2017年3月弊社決算月変更確定により環境目標値を前年度同期間に再設定。
※決算月変更に伴い2016年環境目標前年比を2015年10月～2016年3月とする。
- 2017年度 環境活動実施体制担当メンバーの決定。
- 2017年4月 結果分析、代表者による全体評価と見直し及び次期へ向けての方針確認。
- 環境活動レポート作成。

6. 中期環境目標

項目	単位	2014年 実績	2015年 目標	2016年 目標	2017年 目標
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	468,461	463,770	459,130	454,530
電力使用量削減	kWh	350,912	347,400	343,900	340,460
液化石油ガス使用量	kg	1,495	1,479	1,463	1,447
灯油使用量	L	3,744.1	3,700	3,660	3,620
ガソリン・軽油使用量	L	41,830	41,410	40,990	40,580
一般廃棄物排出量	t	1.60	1.58	1.56	1.54
コピー用紙使用量	t	1,78	1,76	1,74	1,72
水使用量	m ³	550	544	538	532
環境配慮商品の販売	台	36,229	36,950	37,690	38,450
グリーン購入品 18品	品目数	15	18	18	18

7. 環境目標と実績

※弊社決算月変更に併せ 2016 年 10 月～2017 年 3 月 半期間の目標及び実績

項目	単位	2015 年 10 月～ 2016 年 3 月	2016 年 10 月～ 2017 年 3 月		達成率
		実績	目標	実績	
二酸化炭素排出量 (1% 削減)	kg- CO ₂	166,504	164,839	184,542	89.3%
電力使用量 (1% 削減)	kWh	126,575	125,309	129,070	97.1%
液化石油ガス使用量 (横ばい)	kg	851	851	879	96.8%
灯油使用量 (1% 削減)	L	4,521	4,476	6,274	71.3%
ガソリン・軽油使用量 (1% 削減)	L	22,705	22,478	20,626	109.0%
一般廃棄物排出量 (3% 削減)	t	0.481	0.466	0.440	106.1%
コピー用紙使用量 (1% 削減)	t	0.719	0.712	0.832	85.6%
水使用量 (横ばい)	m ³	278	278	280	99.3%
環境配慮商品の販売 (5% 増販)	台	13,759	14,447	23,989	166.0%

使用した北海道電力の二酸化炭素排出係数：0.683kg-CO₂/kWh（平成 26 年度）

化学物質使用量の削減につきましては、当社の製品は屋外設置のため塗膜に対候性などの堅牢性を厳しく要求されています。

そのため塗膜の薄膜化や堅牢性の弱い水系塗料を使用することは困難です。

但し、当社の品質要求に適合出来る水系塗料の開発動向は注視していきます。

8. 取組み評価と今年度取組み

※弊社決算月変更に伴い 2017 年 4 月から 1 年前の実績を前年比とする。

取組み項目	評価	2017 年度取組み
電力 使用量の削減	<p>前期同時期比 1.9% 増加</p> <ul style="list-style-type: none"> 2016 年 11 月の大雪に伴い早期ロードヒーティングの稼動。 不要箇所の消灯については、意識付が浸透しつつあるが、換気扇の消し忘れが時々確認される。 	<p>前年比 1% 削減 245,369kWh ⇒ 242,915kWh</p> <ul style="list-style-type: none"> 換気扇消し忘れ防止徹底。 2016 年末製作所導入のファイバレーザ通年稼動。 冷暖房機設定温度の徹底。
液化石油ガス 使用量の削減	<p>前期同時期比 3.2% 増加</p> <ul style="list-style-type: none"> 製造部生産数前年比 19.4%増により塗装焼付の作業増。 	<p>使用量の大半が塗装焼付により目標管理外とする。</p>
灯油 使用量の削減	<p>前期同時期比 38.7% 増加</p> <ul style="list-style-type: none"> 本社 2F 増築。 製造部 12 月設備入替え等でジェットヒーター休日使用頻度増。 ※休日搬入、組立、調整等 製造部梱包工程社員 1 名増員。 ※増員前比 4H/日 増 	<p>前年実績以下 ※6,525L 以下</p> <ul style="list-style-type: none"> 生産量は少し増加見込。 本社の灯油削減 1%。 可能な範囲での防寒推進。
ガソリン、 軽油 使用量の削減	<p>前期同時期比 10% 削減</p> <ul style="list-style-type: none"> 車運転者の意識向上。 タイヤの空気圧チェックやオイル交換等の管理徹底。 駐停車時のアイドリングストップ。 ドライブレコーダーの導入。 	<p>前年比 1% 削減 41,772L ⇒ 41,354L</p> <ul style="list-style-type: none"> 急発進をしない等のエコドライブの推進。 燃費の悪い人への注意喚起。 ドライブレコーダーの標準化。
一般廃棄物 排出量の削減	<p>前期同時期比 9.3% 削減</p> <ul style="list-style-type: none"> 廃プラ大幅減少。 緩衝材再利用の推進。 	<p>前年比 1% 削減 1.001t ⇒ 0.991t</p> <ul style="list-style-type: none"> 緩衝材再利用の継続。
水 使用量の削減	<p>前期同時期比 0.7% 増加</p> <ul style="list-style-type: none"> ほぼ横ばい状態。 節水意識は定着しつつある。 	<p>前年実績以下 ※593m³ 以下</p> <ul style="list-style-type: none"> 節水の呼びかけ。 こまめな水出し使用。
コピー用紙 使用量の削減	<p>前期同時期比 15.7% 増加</p> <ul style="list-style-type: none"> 両面コピーが時々不徹底。 工場での生産数前年比 19.4%増により据付説明書や管理書類の発行増加。 	<p>前年実績以下 ※1.751t 以下</p> <ul style="list-style-type: none"> 両面コピーの徹底。 会議資料の削減強化。 電子ファイルの共有化の推進。
環境配慮商品 の販売	<p>前期同時期比 74.3% 増販</p> <ul style="list-style-type: none"> フード：87.5%増。 	<p>前年比 2% 増販 ※+768 台</p> <ul style="list-style-type: none"> 東京営業所の体制強化。

9. 環境活動の取組み内容

● 二酸化炭素排出量の削減

環境目標	取組内容	実施詳細
電力使用量	照明の節電	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昼休みや不要（使用していない）場所の消灯 ・ 使用していない場所の冷暖房停止 ・ 温度設定 夏 26℃、冬 23℃ ・ 18時 スイッチ OFF 設定 ・ クールビズ・ウオームビズ ・ パソコン等の省エネモード設定 ・ コピー・FAX・パソコン節電設定 ・ トイレ便座の蓋を閉める ・ 3ヶ月毎にエアコンフィルター清掃
	冷暖房の節電	
	その他節電	
ガソリン、軽油 使用量	エコ運転・運用	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駐車時のアイドリングストップ ・ 車両点検表、燃費の把握 ・ タイヤ空気圧の定期点検（偶数月） ・ オイル交換の管理 ・ 法定速度の遵守 ・ 全車ドライブレコーダーの装備 ・ 車入替時の低燃費車への推進

● その他

環境目標	取組内容	実施詳細
一般廃棄物の削減	ゴミの分別	<ul style="list-style-type: none"> ・ 可燃、不燃、ペットボトル、缶分別 ・ コピー用紙裏面使用 ・ 会議資料（裏紙、両面コピー、電子ファイル） ・ 図面・見積はメールでやりとりする ・ マイ箸の推進（割り箸購入しない） ・ エコキャップ、缶リングプルの収集
	資源使用量削減	
産業廃棄物の リサイクル	適正管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 廃棄物管理表で適正管理 ・ リサイクル業者に依頼する ・ 緩衝材の再利用
水使用量	節水意識の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水をだしたままにしない
エコ商品の販売拡大	販売拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防雪フード、サンシェード等
環境配慮商品購入	エコラベル、 グリーン購入法適合品	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市販事務用品は全て実施（継続）
環境活動の告知		<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境活動レポートのHP への掲載 ・ 会社案内に記載
社会貢献		<ul style="list-style-type: none"> ・ 会社周辺の清掃（週 1 回） ・ 工事現場周辺のゴミ拾い

10. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法規等の違反、訴訟等はありませんでした。
また、関係当局より違反の指摘はありませんでした。

11. 代表者による全体評価と見直し

● 全体評価と見直し

53期(2016年10月～2017年3月)環境活動計画について

- 目標達成3項目、未達成6項目 未達成項目の対策強化をする。
- ガス使用量は粉体塗装焼付が大半である事から目標管理外とする。
- 環境配慮商品の販売は、前年比2%増とする。
- 二酸化炭素排出量、電力使用量、ガソリン・軽油使用量、一般廃棄物排出量は1%削減とし、その他の項目は前年実績以下を目標とする。
- 今後の目標設定については、頭打ちを想定し工夫を検討。
- 中途採用者へのEA21教育手順や組織変更時などのEA21担当者入替え時の引継ぎ手順の文書化が必要。

